

日本海洋人間学会 第7期 2024年度 第2回理事会議事録

2025年2月18日（火）18:00～19:00

Webex を用いた遠隔会議

出席者：理事 15名（委任 2名）、監事 2名、相談役 2名

久門、千足、藤本、阿保、金田、菊地、小泉、鉄、坂、平野、渕、松本、林

漆谷（監事）、寺澤（監事）

神田（相談役）、佐野（相談役）

委任：蓬郷、中原

書記：金田

議事録署名人：千足、藤本

定刻になり、理事会が開催された。

久門会長より開会の挨拶があった。

定款 27 条をもとに定足数の確認が行われ（理事 15 名中、委任 2 名を含め 15 名出席、2/3 以上の出席）、議事が成立することが確認された。

議事録署名人は千足理事長、藤本常務理事が承認された。

【議題】

協議事項

1. 第13回学会大会の振り返り（実行委員会ほか）

鉄第13回大会実行委員長より以下の点について振り返りの報告があった。

- ・なんとか無事に進行できた

- ・合志先生によるご講演に対してフロアからも活発なディスカッションができた
- ・高校生アカデミックコンテストは五校が参加し、環境問題にフォーカスした高校生の視点での良い発表であり有意義であった
- ・懇親会は合志先生の運営施設で行われ好評であった
- ・これまでとは異なる時期での開催であったが例年と同程度の演題数が確保できた

久門会長と千足副会長から鉄実行委員長への謝意が述べられた。また高校生アカデミックコンテストは是非今後も続けていければ良いとの感想があった。

久門会長から、高校生アカデミックコンテスト表彰後に「講評」を行うべきだったとの意見が述べられた。また、今後は事前・事後ともに広報にも注力するのが良いのではないかと提案された。

坂理事から、高校生アカデミックコンテストは是非今後も活性化し、第14回大会は東京での開催なので、広報も充実させて参加校の増加を期待する旨の感想が述べられた。

渕理事から、今後も続けられれば良いという感想が述べられた。

菊地理事から、第13回大会は東京海洋大学以外の場所での開催であったため新鮮であり、今後も定期的に地方での開催が良いという意見が述べられた。

2. 第14回学会大会に向けての企画検討について（実行委員会、企画委員会ほか）

平野企画委員長より1月27日に開催された企画委員会の内容について報告があった。

- ・レジャー・漁業・スポーツに関係し、一般公開も行っているため、多くの方々に興味を持っていただぐ観点から、"Sports-Fishing"に焦点を当てる案が出た
- ・アカデミックコンテストは今後も継続していく意向である
- ・次回以降の学会大会の開催場所等も合わせて企画を検討していく案が出た

藤本第14回大会実行委員長より、第14回大会の開催日について11月8,9日または11月15,16日

が現時点の候補である旨報告があった。

千足副会長より、Sports-Fishing の企画は良い案であるとの意見があった。また、鹿屋体育大学の中村夏実先生に第 15 回大会の開催を打診してはどうかとの提案があった。企画案として漁業関係であれば中原理事にご協力いただけるのではないかとの意見があった。

坂理事から、企画委員としては Sports-Fishing に関して特定の個人ではなく複数人にご講演を依頼しても良いのではないかという意見があった。

久門会長から、第 15 回大会として鹿屋体育大学に打診して良いかどうか理事会に意見徴収があり、特に異論はなかったため、平野企画委員長から鹿屋体育大学の中村先生へ打診（お伺い）することとなった。また、企画案は今後も継続して企画委員会にて内容を詰めていく方向で理事会に意見徴収があり、特に異論はなかったため、引き続き企画委員会で検討していくこととなった。

藤本第 14 回大会実行委員長から、これまでのメールによる演題登録・抄録提出では作業が非常に煩雑であるため、Web 上で受付できるようにしたい意向が提案された。これについて、金田 HP 管理運営委員長から、今後は学会大会特設サイトの設置が有料になるため、無料 Web サーバーまたは学会 Web サイト内に学会大会特設サイトを設置する意向であるとの報告があった。また、演題登録・抄録提出の受付は GoogleForms を通して設定する意向であるとの報告があった。これらについて久門会長から理事会に意見徴収があり、特に異論はなかったため、上記の方針で進めることとなった。

藤本第 14 回大会実行委員長から、現在の社会状況（物価高）を鑑み、学会参加費と懇親会費の増額（約 1,000 円程度）を検討しているとの報告があった。菊地財務委員長から、財政的には問題ないという意見が得られた。これについて久門会長から理事会に意見徴収があり、特に異論はなかったため、上記の方針で進めることとなった。

報告事項

1. 学会関係の参加費等の徴収に関する決済代行の件

藤本第 14 回大会実行委員長から、学会参加費や懇親会費の管理が非常に煩雑であるため、決済代行システムとして Peatex または Payvent の導入を検討しているとの報告があった。またこれに関連し、決済代行システム使用時の手数料を学会側が持つかどうかを検討している旨も報告があった。菊地財務委員長から、学会参加費や懇親会費を払った・払わない、について確認が必要なケースがあり、これまでの振込対応では確認に非常に手間がかかるため、これを解消する必要があるとの意見があった。なお、年会費の対応については蓬郷事務局長に確認することとなった。

次回理事会予定：2025 年 4 月

以上

議長 久門 明人

議事録署名人

千足耕一

議事録署名人

藤本浩一